

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 51
2010 春

Director's Report

Peter Morris

Resident Director
of The Japan Center For Michigan Universities

I am pleased to report that the Fall 2009 semester was a success. There were no major injuries and only 6 cases of the swine flu. This was a major accomplishment, given the close proximity that the students study and live in here at the center. Special thanks to the staff and faculty who helped to make it a memorable and safe term.

As the new Resident Director here at JCMU, I want to wish all a Happy New Year. I have high hopes for yet another good group this semester. In the way of an introduction, I am coming to JCMU from Utah State University where I oversaw admissions for the school of graduate studies. I also worked in the history department, teaching Ancient and Modern Japanese History. I graduated with a double major in Japanese History and Japanese Language at the University of Oregon. I continued my graduate studies there where I was able to narrow the scope of my studies even further. For the past 25 years Japan has been a major part of my life, in work, and in my studies. I am so excited to begin this year sharing my appreciation and admiration for Japan with our students.

Towards the end of the fall semester some of our students were able to participate in the Hikone Castle Festival Parade. JCMU students also celebrated Halloween and Thanksgiving, among the many other activities which helped to foster numerous friendships among both our Japanese and English language students.

This Semester, we will begin all four levels of Japanese language with our returning and new students. Both English and Japanese classes begin during the first week in January. Additionally, students will be able to take elective classes which include Business, Pop Culture, and History. We welcome back Dr. David Leopard to teach our International Comparative Business Dimensions class. There are a number of great Friday projects lined up including Tea Ceremony, Flower Arrangement, Taiko Drumming, Koto, Aikido, Origami, and Calligraphy. Good luck to both our Japanese and English language students this term. May we have another safe and unforgettable semester.



ピーター モーリス

ミシガン州立大学連合日本センター所長

2009年の秋学期が成功であったことをご報告できるのをうれしく思います。大きな事故もなく、新型インフルエンザに罹ったのも6名だけでした。学生たちは、便利なことに、このセンター内で学習し、そして生活することができて、このような大きな成果が得られました。無事にそして記憶に残る学期になったことに対し、スタッフや教授陣にはとりわけ感謝します。

ここJCMUの新所長として、皆さんに新年のごあいさつを申し上げます。この学期もまた良い学生達ばかりだと期待しています。自己紹介をさせていただくと、私は、JCMUに来る前にはユタ州立大学において、大学院生の入学

許可関係の責任者であるとともに、歴史学部で日本の近代史を教えていました。私は、オレゴン大学で日本史と日本語を専攻し、同大学院でも専門を絞って研究を続けました。過去25年間、日本は私の人生、仕事、そして研究の中心となるものでした。新年にあたり、学生と一緒に日本を楽しむことができることをとても喜んでいきます。

秋学期の後半、彦根城祭りのパレードに参加した留学生もいました。また、ハロウィーンやサンクスギビングその他多くの行事に参加して、日本人の学生と留学生との間に多くの友情が育まれました。この学期は、秋学期から継続の学生と新しい学生とで4つ全てのレベルのクラスを始めます。英語のクラスも日本語のクラスも1月の第1週目から始まりました。留学生は、ビジネス、ポップカルチャー、歴史などの選択科目を取ることができます。デービッド・レパード教授には、再び「ビジネス規模の国際比較」を教えてください。茶道、華道、和太鼓、琴、合気道、折り紙、書道など多くのフライデー・プロジェクトもあります。日本人の学生と留学生にこの学期の幸運をお祈りします。無事に、思い出深い学期になりますように。

～モーリス新所長にインタビュー～

2009年10月に就任されたピーター・モーリス新所長は、ユタ州から来られましたが、とても明るくて親しみやすい方です。聞くところによると、若いころに日本に住んでおられた上、奥様は大阪出身の方だそうで、道理で日本語は大変流暢なはずで、適度に関西弁が入って、そこがまた会話がはずむ理由の一つなのかもしれません。



ユタ州アーチズ国立公園

Q1. 滋賀県や彦根の印象は、どうでしたか？

私にとってなじみの深い関西であり、長い歴史もあり、気に入っています。琵琶湖があって、関西の他のところと比べてもとてもきれいなところだと思います。

Q2. 趣味は何ですか？

私の専門でもある歴史です。大学生の時に日本文学を教えていただいた先生の影響で日本の近代の歴史に興味を持つようになり、大学院のときは、黒船来航までの鎖国時代の日本の外交について研究しました。卒業論文は、ジョン・万次郎について書きました。滋賀県には彦根城を始め近代史にゆかりのあるところが多いので、もっと勉強したいです。



ジョン・万次郎像

Q4. JCMUはどんなところですか？

学生同士が寮生活を通して友達になり、言葉だけでなく日本の文化も体験することができる、ここにしか無い大変素晴らしいプログラムです。私も学生のとき来ればよかった。もっと多くの日本の方々にJCMUに来ていただいて、英語プログラムで英語を身につけ、アメリカ人学生と友達になってアメリカの生活や文化を学び、そしてアメリカの大学に留学していただければ、素晴らしいと思います。JCMUには大きな可能性があります。

Q3. 日本社会の国際化についてどう思われますか？

今回滋賀県に来て、南米やフィリピンなどからの外国人を見掛けることが多く、驚きました。日本は少子高齢化が進んでいて、これから人口が減少していきます。これから日本社会が外国人を受け入れていくことはとても大事なことだと思います。

Q5. 最後に語学上達の秘訣を教えてください

言葉だけではなくて、その背景にある文化も学ぶことだと思います。頑張りましょう。



～MSUってどんなところ～



ミシガン州立の15大学の中ではミシガン大学と並んで規模の大きなミシガン州立大学 (MSU)。MSUの卒業生で、いつもJCMUのアメリカ人留学生が頼りにしているスチューデント・サービス・コーディネーターの伊賀理子^{あやこ}さんにMSUのキャンパスライフについて聞いてみました。日本の大学とでは随分と様子が違うようで、少し羨ましい気もします。

MSUはミシガン州、イーストランシングという人口が彦根市の半分以下の小さな町にある大きな大学です。MSUの敷地はなんと21k㎡で生徒数は町の人口よりも多い4万7278人。大きなキャンパスの中は川が流れていて緑に溢れ、秋は紅葉がとっても綺麗です。そして大学の敷地内にはゴルフ場や牧場、そして牧場で育てた牛から取れた牛乳で作ったチーズやアイスクリームを販売する乳製品ショップまであります。MSUのアイスは安いのにとても美味しく、マイナス20度まで気温が下がる冬でもアイス屋さんにはアイスが大好きなアメリカの学生たちで賑わっています。大きな大学なのでパーティーやフットボール観戦など楽しい行事も沢山ありますが、授業が難しいので学生たちは皆とても勉強熱心です。



週末以外24時間営業の図書館では栄養ドリンクを飲みながら徹夜で勉強している学生を見かけることも良くあります。4階建てで2ウイングもあるとても大きな図書館なのですが、テスト期間の前は生徒で溢れ勉強する為の机を探すのも困難な程です。

MSUの学生は愛校心溢れる人たちが多く、皆自分の大学に誇りを持ってキャンパスライフを楽しんでいるようです。

公開講座

ミシガン州立大学連合日本センターでは、地域社会の国際化と国際理解に少しでも貢献できるよう、毎年公開講座を開催しています。講座といっても難しいものではなく、テーマは旅行やフィットネスなど誰でも興味を持てるものばかりです。今回は、この秋に開催した3回の公開講座の様子をご紹介します。

[第69回公開講座 「乙女のアフリカ体験」 10月23日(金)]

今もケニアに住んでおられるというオバマ大統領のおばあ様のことや、自転車のタクシーのお話、近くの湖にカバが普通に生息していることなど、JICA国際協力推進員の魚谷未夏さんうおたに みなつから青年



海外協力隊員としてケニアにおられたときの体験談などをお聞きし、ケニアのことを知るだけでなく、異文化について考える良い機会になりました。会場に飾られたカンガと呼ばれる布に描かれていたのは、アフリカ大陸とオバマ大統領でした。



[第70回公開講座 「ハウスフィットネス」 11月13日(金)]



ミシガン州立グランバレー大学のエイミー・クラウレー先生を講師にお迎えし、英語でハウスフィットネスに挑戦しました。前半は、女性は運動をしても筋肉がつくの心配しなくていいとか、適切な運動量とはどれだけかなど興味深いお話をいただき、後半には実際に家庭で手軽にできるハウスフィットネスを紹介していただきました。これをつづけるとばっちりの体型になるそうです。運動をすると血流がよくなるせいか、英語の理解力も増したようでした。

[第71回公開講座 「トラベル イン ブリテン」 12月4日(金)]

JCMU英語教官のエリック・オバリー氏の人気のトラベルシリーズ。今回は、イギリスとアイルランドを紹介していただきました。イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドそしてアイルランドとそれぞれに豊かな個性と長い歴史とそして多くの見どころがあります。エリックさんは、学生の頃にイギリスに1年間ほど留学していたことがあって、イギリスとアイルランドは、一番好きな国だそうです。すぐにイギリスへ行きたい、という声が会場に溢れました。



第72回公開講座

♪ ポップソング～愛と平和～ ♪

2010年2月20日(土) 2:00～4:00

只今参加者募集中

ビートルズやカーペンターズなどのポップソングの歌詞について滋賀県立大学の石田法雄先生に解説していただき、そのあとモノデリックオーケストラによるポップソング演奏会とJCMU留学生との交流会をします。参加費は無料です。申込 ☎0749-26-3400。大勢の皆様のお越しをお待ちしています。

《小江戸彦根の城祭り》

One of the most memorable moments of my trip to Japan was participating in Hikone Castle Festival on 文化の日. At that time I was able to dress up as a feudal age samurai and mark in front of Ii Naomasa and his magnificent horse while everyone looked on in awe at the traditional clothing that we had spent so much time putting on. I will never forget the looks of surprise and admiration from the people in the crowd and I am very glad I chose to participate. I think it is great that Japan celebrates their culture and honors their history so dearly and it is a great wish of mine that someday I can bring this kind of interest to people in my own country. Thank you, Shiga. (L.P.)



(脇差に手を掛け、姫君を守る侍に扮しているのは、JCMU学生です。)

ホストファミリー募集

当センターでは、アメリカ・ミシガン州を始め全米から来日している留学生のホストファミリーを募集しています。1カ月以上の長期ホームステイのほか、週末だけの短期ホームステイもあります。まずはバンクに登録していただき、そのあとは都合が合うときに学生の受け入れをお願いしています。1人でも多くの留学生がホームステイを体験できるようご協力いただければ幸いです。

昨年は、JCMU設立20周年という大きな節目の年でありました。この20年間、ここJCMUでは、アメリカからの留学生が日本語や日本文化を学ぶプログラム、県民向けの英語プログラムのほか、地域の協力を得ながら、ホームステイや公開講座を開催するなど交流活動も積極的に行ってきました。これからも、JCMUが国際交流の場として県民の皆さんや留学生の皆さんに親しまれる施設となるよう取り組んでまいりたいと考えております。そこで、今年、最初の地域交流事業として、2月20日に公開講座「ポップソング～愛と平和～」を企画しましたので、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。(こ)

JCMU Calendar 2010年 行事予定

- 2/20 土 公開講座「ポップソング～愛と平和～」
- 4/12 月 英語プログラム(春季・彦根)開講
- 4/14 水 英語プログラム(春季・大津)開講
- 4/17 土 日本語プログラム修了式
- 6/4 金 夏期日本語集中講座開講

《春季英語プログラムご案内》

●申込締切 2010年3月26日(金)
ホームページからお申し込みいただけます。

彦根コース

開講期間：2010年4月12日(月)～7月2日(金)

場所：ミシガン州立大学連合日本センター
(彦根市松原町〔彦根ビューホテル南隣〕)

◎英語集中コース／月～金 10:00～12:00 13:10～15:10

留学・進学・転職・自己啓発のため英語総合力アップを図るコースです。午前中のみ受講できるモーニングコースもあります。

※付属寮にアメリカ人留学生のルームメイトとして入寮できます。

◎スキル・テーマ別コース／週1～2回

目的、時間に合わせて実力アップを図るためのコースがあります。

- ・読み、聞き、話す力を伸ばす「マルチスキル」
- ・映像教材で学習する「アメリカオンビデオ」
- ・英文の書き方を学ぶ「ライティング」
- ・聞き、話す力をつける「スピーキング・リスニング」

◎夜間コース／月・木 19:00～20:30

実用英会話ブラッシュアップのための夜間コースです。

大津コース

開講期間：2010年4月14日(水)～7月7日(水)

場所：ピアザ淡海
(大津市におの浜一丁目〔びわ湖ホール東隣〕)

◎〈大津マルチスキル〉／毎週水曜日 14:00～16:00

◎〈大津夜間コース〉／毎週水曜日 19:00～20:30

ミシガン州立大学連合 日本センター

〒522-0002

滋賀県彦根市松原町網代口1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所